

技術・家庭科 家庭分野（3 学年）

週時間数 隔週 1 時間

1 学習の手引き

使用教材	・新しい技術・家庭 家庭分野 ・新版 家庭科ワークノート 家族・家庭生活 ・ノート（昨年度から使用しているもので可）	持ち物	・教科書 ・ノート ・ワーク ・タブレット
学習の進め方	学 校 ・毎時の学習目標を捉え、必要な事柄は必ずノートに記入をしておきましょう。 ・考えることを大切に、友達の意見を取り入れ主体的に学習活動に取り組みましょう。 ・生活とリンクさせ、現代社会の問題を捉えながらより良い生活の工夫を考えましょう。 家 庭 ・学んだことを意識的に日常生活で実践しましょう。 ・日々の生活に疑問を持って授業に臨みましょう。		

2 学習の内容

学期	月	題材（学習する時間）	学習内容	備考（評価）
前期	4 月	・今までの自分を知ろう ・幼児の生活と家族	・自分の成長と家族のかかわり ・幼いころの振り返り ・幼児の体・心の発達 ・身に付ける生活習慣 ・幼児の生活と遊び	・期末テスト ・課題 ・授業への取り組み ・ワーク
	5 月			
	6 月			
	7 月	＜夏休み＞		
前・後期	9 月	・遊びの意義と製作 ・保育所へ行ってみよう	・手作りおもちゃの製作 ・幼児との関わり方の工夫 ・幼児との触れ合い体験	・製作物 ・課題 ・授業への取り組み ・単元のまとめ
	10 月			
	11 月			
	12 月	＜冬休み＞		
後期	1 月	・私たちの消費生活・商品の選択と購入 ・家庭分野の学習を終えて	・消費者としての自覚 ・消費者トラブルとその対策	・課題 ・授業への取り組み
	2 月			
	3 月			

3 評価の観点と内容・方法

観 点	内 容	方 法
知識・技能	・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理解し、それらに係る技能を身に付けている。	・提出課題 ・作品 ・定期テスト
思考・判断・表現	・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・提出課題 ・ワーク
主体的に学習に取り組む態度	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・活動参加への様子 ・授業への取り組み ・作品 ・レポート

